



利用者の皆様へ 駐車場案内

国道330号線、沖縄自動車道北中城ICから
北駐車場/乗用車190台 バス10台
国道329号線から
西駐車場/乗用車100台 バス2台
中城城跡向かい 台グスク 乗用車70台

ツタンカーメンのエンドウの楽しみ方

別名/ムラサキエンドウ



特徴

1. スイピーに似た美しい花を咲かせる。
2. 花の後、観賞でもよい紫色の莢を付ける。
3. 豆は茹でて食用として使え、豆ごはんで炊き保温のままにしておくと紫色に染まる。

解説

このエンドウ、1922年にツタンカーメンの墓から発掘された種子が発芽し、広まったとされ、この名前がついている。

エンドウの原産地は中央アジアから中近東と考えられていて、古くから栽培され食用とされてきた。近年栽培されているエンドウは白花で莢も緑色だが、いろいろな品種があるという。

栽培は生育適温が15～20度と言われている。沖縄では晩秋から春にかけて育てるのがよさそう。10月下旬から12月にかけて播種し、開花は年内から年明けにかけてで、莢が肥大し、収穫できるのは1～3月にかけてだ。完熟した莢は自然乾燥し、室内で保管。再び播種するのは莢から豆を取り出し、撒けばよい。



苗は1個ずつ鉢にまいて作り、その後定植



尺鉢や大きな鉢には直接まいても良い。



花壇、畑には直播きにする



花壇での栽培



プランター栽培



尺鉢栽培



肥大した莢



食用は完熟前が良い



乾燥中の完熟莢



種用は完熟してから採取する



播種する前に莢から種(豆)を取り出す



莢から出した豆

中城公園ニュースレター **くもぐす** 2024年1月号

中城公園管理事務所 〒901-2315 沖縄県北中城村字荻道平田原370-2

TEL(098)935-2666 FAX(098)935-3533

<https://nakagusukupark-osi.jp>

指定管理者 沖縄文化スポーツイノベーション株式会社[タピックグループ] 編集・発行:比嘉正一